

第434回 難研セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 平成22年7月28日（水）17:30～18:30

場 所： M&D タワー [湯島地区] 13 階 大学院講義室 2

演 者： 小 安 重 夫 教授

（慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室）

演 題： 自然免疫反応で Th2 サイトカインを発現する
新しいリンパ球

要 旨：

CD4 陽性 T 細胞は抗原特異的に刺激される際、周囲の細胞から供給されるサイトカインによって異なる機能を持つヘルパー T 細胞(Th)へと分化する。Th2 細胞が生産する IL-4, IL-5, IL-13 などのサイトカインは好酸球や肥満細胞の活性化を介した炎症を誘起し、腸管寄生虫感染防御やアレルギー疾患の病態形成に重要な役割を果たす。我々は、腸間膜に代表される脂肪組織中にこれまでに報告のないリンパ球集積を発見し FALC(fat-associated lymphoid cluster)と名付け、さらに FALC に存在し、大量の Th2 サイトカインを発現する細胞集団を見いだした。この細胞は lineage marker を持たず、c-Kit, Sca-1, IL-7 受容体などを発現するが、さまざまな解析からリンパ球前駆細胞やリンパ組織の誘導細胞(lymphoid tissue inducer cell:LTi 細胞)とは異なる細胞であることが示された。この細胞は IL-2 によって増殖し、IL-4, IL-5, IL-6, IL-13 などの Th2 サイトカインを発現する。これらの性質から、我々はこの細胞群をナチュラルヘルパー細胞と名付け、さらにその機能を解析中である。本講演では、この研究を紹介し、アレルギーとの関わりについても考えてみたい。

連絡先： 生体防御学分野・樗木俊聡（内線 8054）

共 催： 発生再生生物学・仁科博史